

現地調査に行ってきました！

市民推進会議では、横浜みどり税を活用した横浜みどりアップ計画の取組についての検証することを目的に、現地を視察する調査部会を毎年実施しています。今年は泉区の、①和泉小学校ビオトープ、②③古橋市民の森、④和泉町の水田を訪れました。



- ① 2年前にビオトープへと再生された校内の「ニコニコ池」は総合学習の場としても活用されています。子どもを育む空間として維持管理するには、地域の方々のサポートが欠かせません。
- ②③ 20年前までゴミの山だった森が整備され、今年4月に市民の森になりました。今は散策路が台風19号による倒木などで通れない状況です。愛護会の方々は市の協力を得て森の復旧に取り組んでいますが、高齢者宅の庭木の剪定や庭整備にも大活躍、地域に必要な存在となっています。
- ④刈り取られた稲の「稲掛け」も見られ、秋の田園風景が広がっていました。

文：高橋秀忠

Yokohama みどりアップ Action

Vol. 2
2020.2

コラム 横浜の農と学校連携

横浜みどりアップ計画では地産地消推進の取組の一環として、市民や企業、大学と連携した様々な取組を行っています。例えば、フェリス学院大学の学生が横浜市と連携して、Instagramで横浜の「農」と「食」に関する写真を投稿する「ハッシュタグ横浜農場キャンペーン」を実施し、横浜の地産地消をPRしました。

これからの横浜の農には、市民参加が欠かせません。地産地消の推進に活かされるような活動（Action）に熱心に取り組む学生をととても頼もしく感じました。



横浜みどりアップ計画とは？

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。

横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは？

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

YOKOHAMA

みどりアップACTIONとは？

みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力をお伝えします。私たち市民委員と一緒に緑のACTION（行動・活動）を起こしましょう！！

※令和元年度に「みどりアップQ」からリニューアルしました。

市民推進会議広報誌



ご意見・ご感想を お待ちしております！

みどりアップACTIONについて、ご意見・ご感想、取り上げてほしい特集テーマなどのご要望をお待ちしています。いただきましたご意見・ご要望は、今後の発行の参考にさせていただきます。

詳しくは
こちら！



YOKOHAMAみどりアップACTION 第2号

(旧みどりアップQ) (市民推進会議広報誌第37号) 令和2年2月発行
編集：横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会
発行：横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ

横浜市環境創造局政策課(事務局)
TEL:045-671-4214 FAX:045-641-3490
E-mail:ks-mimiplan@city.yokohama.jp



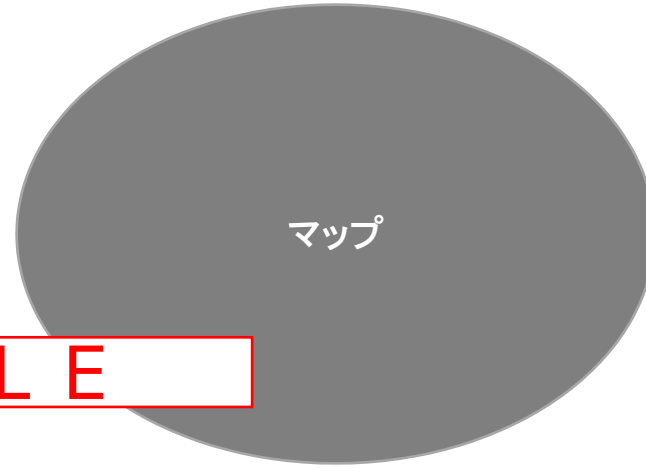
横浜で農にふれる、おいしさを知る「あぐりツアー」

『みなと』のイメージが強い横浜ですが、実は農地がたくさんあり、農産物もたくさん生産されています。そんな横浜の姿を知り、採れたてのおいしさを味わえるイベントが「あぐりツアー」です。特に子どもたちにふるさとの農業を感じてほしいと、「親子横浜農業探検隊」として10月5日に泉区・瀬谷区で行われた、あぐりツアーに参加しました。

取材 村松委員、国吉委員



SAMPLE



畑で芋ほり体験

今回は、サツマイモの収穫・牧場の見学・直売所での買い物という内容でした。まず横山四季彩園の見晴らしの良い広い畑で芋ほり。ここは横浜市独自の制度である農業専用地区の畑です。農園主の横山さんは四代目の若い専業農家さん。ハワイに2年住んで日本の四季の美しさに気づき、日本の自然を感じられる農業に打ち込んでいます。今日は子どもたちの体験用に事前にツルをきってある畝の前で掘り方の説明を聞き、さあ芋ほりです。思ったより大きいお芋も多く、手で懸命に土を掻き出しながら夢中で掘っていました。土いじりが楽しいとみんな笑顔。一組3株掘った後には、「つぼ焼き」という専用器具で焼いた焼き芋がふるまわれ、「こんなおいしいお芋食べたことない！」との声が上がりました。



参加者全員で集合写真

牧場と直売所の見学

次に向かったのは相澤良牧場。約40頭の乳牛を飼育しています。初めて見る牛に子どもたちがびっくりしていました。7年前から牧場の牛乳だけを使ったソフトクリームを製造し、カフェを開業。6次産業化することで、経済的に好転したそうです。子どもたちが思わず笑顔になる、優しいミルク味が印象的でした。都市の中にある牧場なので、近隣との共存が気になりましたが、小学校の給食への提供や、児童の乳しぼり体験などに積極的に取り組んでおり、むしろ地域のシンボルとなるような牧場だと思いました。最後はグリーンファームあい菜フロア店^{はなまる}で花苗や野菜が並んでおり、「市内産」の新鮮な野菜の買い物を楽しみました。

農とふれあう場づくりと大学との協働

あぐりツアーは横浜みどりアップ計画の事業の一つです。横浜市のような大都市で農地を守るには、農家の工夫や行政の積極的な取組も欠かせませんが、市民の参加も重要です。今回のツアーでは、横浜市環境創造局と連携協定を結んだフェリス学院大学の、学生さんと佐藤輝教授が企画運営に参加しました。当日は、学生さんがツアーガイドとして、クイズやインタビューを交えながら進行し、農の魅力を市民の皆様に伝える役割を柔らかく果たしてくれました。

巡った場所をご紹介します

旬のサツマイモ収穫体験を「横山四季彩園」にて、牧場見学とオリジナルソフトクリーム実食を「オーガスタミルクファーム」にて、最後に農産物直売所の「グリーンファームあい菜フロア店」の3箇所を巡りました。

相澤良牧場 (オーガスタミルクファーム)



約70年の歴史がある「オーガスタミルクファーム」(相澤良牧場)は飼育している牛から搾った新鮮な牛乳で濃厚なソフトクリームや乳製品を作り店舗にて販売。

住所：瀬谷区阿久和南 3-11-11
電話：045-489-6211 営業時間：10:30~16:00
休業日：1月~3月中旬の月曜日・年末年始(3月下旬~12月は無休)

二次元
コード

HPはこちら



○プチ情報○

横浜の酪農家は13件。横浜の酪農の歴史は古く、日本の牛乳製造販売も横浜が発祥。

横山四季彩園



「横山四季彩園」では菜花、アスパラ菜、トマト、サツマイモ、ほうれん草など年間36品目の季節野菜を栽培し、直売所などで農家直の採れたて野菜を販売。
※通常は収穫体験は実施していません

二次元
コード



○プチ情報○

横山さんをご用意くださった「紅はるか」の焼き芋は「つぼ焼き」という特殊な壺を使い低温で2時間ほどかけて焼いているため、甘くしっとりとしたお味が特徴。



グリーンファーム あい菜フロア店

総合ガーデニングショップの中にある新鮮な地場野菜が買える野菜直売所。

住所：瀬谷区阿久和南 4-8-289
電話：045-360-6887
営業時間：春夏 9:30~18:30 秋冬 9:30~17:30

二次元
コード

HPはこちら

Q あぐりツアー(横浜農業探検隊)ってなに？

市民のみなさんが、まとまりのある農地や市内農産物の生産現場、直売所などを見学・体感できるツアーで、横浜の農を知ることができます。

Q 6次産業ってなに？

第1次産業の農林漁業従事者が、2次産業の食品加工と3次産業の流通・販売まで総合的に行うことです。

ここがみどりアップ計画

横浜には、身近なところに農地があり、市民の様々なライフスタイルに応じた、農とのふれあいを楽しめる場づくりが進められています。その取組の一環として「あぐりツアー」が開催されています。